



若さをアピールと、今年もふれあい運動会の各種団体リレーに参加。防犯たすきに防犯帽のりりしいユニフォームだが、口では白いかっぽう着軍団におされぎみ。さあ、スタート!。抜きつ抜かれつ「がんばれ!防犯!」~~「あ~あ」。(R)



「自転車の事故で賠償金6千万円!」

自転車は手軽で便利ですね。でも、近頃自転車と歩行者の接触事故が多く、その賠償金も多額になっています。免許のいない自転車のルールは軽く考えられているようですが、自転車でも大きな事故になることがあります。

皆さんの声

- 「だいたいスピード出し過ぎよ」
- 「特に坂道」「無灯火も多いでしょ」
- 「本来、自転車は車道を走らないといけないんだよ」「歩行者のことも考えて!」

事件事例	賠償金額
通学中、歩行者に衝突。被害者は脊椎損傷による麻痺の後遺障害が残る	6,008万円
街灯のない道で歩行者に衝突。死亡させた。	3,912万円
道路右側を通行中、対抗進行してきた自転車と接触。転倒させ死亡させた。	2,650万円
無灯火で歩行者に気づかず衝突。死亡させた。	1,169万円
無灯火で、携帯電話をかけながら看護師の歩行者に追突。歩行困難になる。	5,000万円

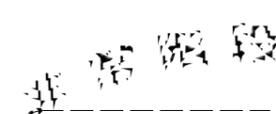
あなたは「だいじょうぶ菌」に、おかされていませんか?

10月6日、とよなか地域安全大会が、読売文化ホールで行われました。大阪は平成23年度未までに「街頭犯罪ワーストワン」返上を目指し頑張っています。

この日、一日署長を務めた大阪学院大学教授の國定浩一さんは、地域の安全について「前向きで反骨精神あふれる阪神タイガース応援団」を引き合いに、楽しい話を交えながら、地域で

守る防犯活動の重要性を訴えました。

また、「これくらい大丈夫」と思っているあなたは「だいじょうぶ菌」に侵されています。そんな人には「もしかしたら菌」ワクチンの摂取が必要!との寸劇に、「私のことだ」と痛いワクチンを摂取されて帰ってきました。



こんな落とし穴!



みつけた!

桜ヶ丘メゾンシティがスタートして5年が経ちましたが、非常時での避難通路に欠陥があることが分かり取り急ぎ修復作業に取り掛かります。

桜ヶ丘は免震構造という新しい建築工法でできています。地震時に安全というのが建物のセールスポイントでした。この工法は土地と建物を分離し、地震の振動を伝えにくくしていることから、これまでの耐震建築物に比べ建物と地面との段差が大きくなっています。これまで住民は、通常玄関とエレベーター出入りに関して何ら支障もなく過してきました。

しかし、非常階段の先にはこんな落とし穴があることに気がつきました。建物にある

非常階段を伝い、やっと地上面まで到達しても、それから先に大きな段差や足元の通路が塞がり行き止まりとなり、酷い個所は一般の通路には出られないところがあったのです。

当然、入居に際しての建築業者からの引き渡し検査やその後、毎年定期的に消防署の監査も行われています。しかし、関係者には見過ごされていたのです。

今回のこのことは多くのことを示唆してくれています。今一度「自分たちの安全は自分たちで!」という目で周りを見直ししてみることが大切だと思われ知らされた一件です。

他山の火事として他住区の皆さまにも参考になることと思われしますのでお知らせしました。